

コラーレ芽のうたげ



# 野村万作 新狂言の会



闇に浮かび上がる能舞台、  
水面に揺らめく二本のかがり火、  
野村万作・萬斎親子が舞い謡う。

演目 「貫智(もらいむ)」

「梟山伏(ふくろやまぶし)」

「樋の酒(ひのさけ)」

出演 野村万作 野村萬斎 石田幸雄 他



2013. 10/10(木)

開場 18:30 開演 19:00

黒部市国際文化センター

コラーレ 〈野外能舞台〉

一般5,000円 高校生以下1,000円 障がい者手帳をお持ちの方4,000円

■当日は18時20分に、チケットの「整理番号」順に整列の上、順次ご入場いただきます。チケットはコラーレだけで発売いたします。

- この公演は黒部市の助成により低料金で楽しみいただけます。
- 未就学児の入場はご遠慮願います。公演中、未就学児を対象とした「一時保育(無料)」を実施しています。公演2日前の18:00までにお申し込みください。
- 雨天が予想される場合は雨合羽等をご用意ください。天候によっては、会場がカーターホールに変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

主催/公益財団法人黒部市国際文化センター 協賛/チューリップテレビ 後援/黒部市 黒部市教育委員会

●お問い合わせ●

コラーレ 〒938-0031 黒部市三日市20番地

TEL.0765-57-1201 FAX.0765-57-1207

info@colare.jp http://www.colare.jp/ 開館時間:9:00~22:30(土曜~23:00) 毎週水曜日休館



仲秋の闇に浮かび上がる、  
日本最古の喜劇「狂言」をご堪能ください。

## 秋風を感じながら

今年の公演は、初めて10月の開催となりました。コラーレの秋風を感じながら演ずることで、新しい発見があれば嬉しいことです。

今回は、聳、山伏、太郎冠者と、狂言らしい役柄を主役とした三曲を選びました。趣の異なるそれぞれの演目をお楽しみ頂ければと存じます。

## 野村万作

野村万作

狂言師



一九三二年生。重要無形文化財各個指定保持者（人間国宝）。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。狂言の秘曲である「釣狐」の演技で芸術祭大賞を受賞した他、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞、旭日小綬章など、多くの受賞歴を持つ。国内外で狂言普及に貢献し、ハワイ大、ワシントン大では客員教授を務める。古典はもとより新しい試みにもしばしば取り組み、代表作に「月に憑かれたヒコ」「子午線の祀り」「秋江」「法螺待」などがある。著書に「太郎冠者を生きる」（白水社）、「狂言三人三様・野村万作の巻」（岩波書店）がある。

## 野村萬斎

狂言師

一九六六年生。野村万作の長男。祖父・故六世野村万蔵及び父に師事。重要無形文化財総合指定者。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国内外の狂言・能公演はもとより、現代劇や映画の主演、古典の技法を駆使した作品の演出など幅広く活躍。九四年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、紀伊國屋演劇賞、朝日舞台芸術賞等を受賞。著書に「萬斎でござる」「MANSAI」



◎解体新書「朝日新聞社」、「狂言三人三様・野村萬斎の巻」（岩波書店）等がある。世田谷パブリックシアター芸術監督。

## 石田幸雄

狂言師



一九四九年生。野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。「雙ノ会」主宰。数多くの優れた舞台歴を持つ野村家の重要な演者。また新しい試みの舞台にも意欲的な発表が多い。普及公演での的確な解説にも定評がある。「万作の会」の海外公演にもたびたび参加。日本大学芸術学部、学習院大学非常勤講師。「雙ノ会」で二〇〇六年度芸術祭大賞、二〇一一年観世寿夫記念法政大学能楽賞を受賞。

## 薪狂言 番組

解説 石田幸雄

## 火入れの儀

狂言 貫聳 もらいむこ

酒を飲んで帰宅した夫が、酔った勢いで妻を追い出してしまふ。泣く泣く実家に戻った妻は、たびたびの夫の酒乱に呆れ果て、帰宅を促す父親の説得にも一向に応じない。翌朝、酔いが覚め後悔した夫は、舅を訪ね、妻を返してほしいと頼むのだが……。現代でもよくいる酔っ払い、酒癖の悪い仕様のない男を取り巻くお話ですが、三者三様の人間味溢れる登場人物の姿に、変わらぬ人の営みを感じられる狂言です。

主 深田博治

妻 中村修一  
舅 石田幸雄

後見 飯田 豪

## 狂言 梶山伏

ふくろやまぶし

山から戻って以来様子がおかしい弟を心配した兄は、山伏に祈禱を頼みにいく。山伏が弟の様子を見て祈り始めると、弟はうつろな目つきで鳴き声をあげる。聞けば弟が山で梶の巣にイタズラをしたのが分かる。梶が取り憑いたものであろうと、山伏は懸命に祈るのだが、症状はますますひどくなるばかり。そしてついには……。梶の「ホーッホーン」という鳴き声が印象的な、楽しい作品です。観ている皆さんの頭にも、梶の鳴き声がこびりついて離れなくなってしまうかもしれませんね。

山伏 野村萬斎

兄 岡 聡史  
弟 内藤 連

後見 飯田 豪

## 狂言 樋の酒

ひのさけ

主人が太郎冠者に米蔵、次郎冠者に酒蔵の番をするよう言いつけて出かける。次郎冠者が早速酒蔵の酒を飲み始めるので、太郎冠者はうらやましくして仕方がない。そこで次郎冠者は、酒蔵から米蔵へ樋を渡して酒を流し、太郎冠者にも飲ませることに成功する。すっかり調子に乗った二人は……。本舞台と橋掛かりをそれぞれ蔵に見立て、能舞台ならではの構造を上手く活かした狂言です。樋から酒を飲む場面はもちろん、にぎやかな狂言小舞がいくつも登場する酒宴も見どころです。

太郎冠者 野村万作

主 月崎晴夫  
次郎冠者 高野和憲

後見 中村修一